

※ 本症例については、県及び医療機関による精査の結果、平成30年11月26日付で報告取下げとなりました。

マスコミ各位

平成30年11月12日（月）  
沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班  
担 当：久高、仁平  
電 話：098-866-2215

## 麻しん(はしか)患者の発生について(注意喚起)

### 1 報道関係者の方へ

この度、本県にて今年102例目となる麻しん患者が報告されました。

当該患者は、10月30日に発症し、11月10日に医療機関の検査にて麻しんと診断されました。県外への渡航歴はないため県内で感染した可能性があります。また、当該患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻しんに感染する可能性がありますので、各医療機関および県民へ注意喚起のため情報提供を行います。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされております。現時点において当該患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。

### 2 患者の情報

40代、女性。南部保健所管内に在住。麻しん含有ワクチン接種歴1回。

### 3 患者の症状等

10月30日：37℃台の発熱。

11月6日：目の充血や発疹が出現し、南部保健所管内の医療機関を受診。

11月10日：医療機関の検査（抗体検査）にて麻しん陽性となり医療機関から南部保健所へ届出。

### 4 感染源

調査中（県外への渡航歴なし）

### 5 県民の皆様へのお願い

麻しんは、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

現在、保健所では感染源について患者周辺を調査中です。発熱、発疹がある場合は、マスクを着用の上、公共交通機関を利用せずに医療機関を受診してください。

また、県内では現在、今回の麻しんに加え、風しんも発生しています。これらの病気に感染しないためには、2回の麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種が重要です。

○MRワクチンの定期予防接種（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種を受けましょう。

○定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを検討してください。

- ・母子手帳などでMRワクチンを2回以上受けた記録がある
- ・過去に麻しんに罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）

## 6 麻しん（はしか）について

○原 因：麻しんウイルス

○潜伏期間：10～12日

○主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。  
2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

○感染経路：空気感染（麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下）

○感染症法：五類感染症

○予 防：予防接種が有効